| 第11期中野区健康福祉審議会 | 資料5-1 |
|---|---|
| 第2回介護・高齢部会(2026/6/2 開催) | |

令和７年度(2025 年度)高齢福祉・介護保険サービス意向調査の実施及び調査分析について

1　目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及びケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2　調査の概要

| 調査名 | 調査対象者 | 調査<br>標本数 | 有効回収数<br>(回収率) | 前回調査<br>(回収率) |
|---|---|---|---|---|
| (1)高齢者調査 | 65 歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援１・２認定者を含む）<br>ただし、要介護認定者を除く | 3,000 人 | 1,810 人<br>(60.3%) | 1,652 人<br>(55.1%) |
| (2)介護サービス利用調査 | 要支援１から要介護５までの認定を受けている区民<br>ただし、施設入所者を除く | 3,000 人 | 1,687 人<br>(56.2%) | 1,344 人<br>(44.8%) |
| (3)ケアマネジャー調査 | 区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを 10 件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー | 250 人 | 141 人<br>(56.4%) | 138 人<br>(55.2%) |

3　調査期間

令和７年 11 月 14 日～12 月５日

4　調査方法

郵送による配布・回収とインターネットによる回答

5　主な調査結果（前回調査：令和４年 11 月）

※前回調査に比べ変化が大きかった項目

⑴ 高齢者調査

・運動器機能の低下リスク該当者について、要支援２における割合が、前回と比べ、19.5 ポイント増加している。(P25　図 2-1)

・外出が減っている理由として「足腰などの痛み」と回答した割合が前回に比べ、7.6

ポイント増加している。（P30　図2-5）

・知的能動性の低下者について、要支援２における割合が、前回に比べ14.7ポイント増加している。（P49　図4-3）

⑵介護サービス利用調査

・介護を受けたい場所として「自宅」と回答した人が、前回に比べ全体では3.8ポイント、要介護３～５では17.6ポイント増加している。（P112　図1-9）

・施設等への入所・入居については、「検討していない」の割合が、前回に比べ、全体では14.5ポイント、要支援１～要介護２では5.4ポイント、要介護３～５では18.1ポイント増加している。また、全体での割合は73.1％となっている。（P114　図1-11）

・現在抱えている傷病で「認知症」と回答した割合は、前回に比べ、全体では23ポイント減少している。一方で「筋骨格系疾患」と回答した割合は、6.1ポイント増加している。（P116　図1-13）

⑶ケアマネジャー調査

・中野区内でサービス供給不足のため利用者に提供できないサービスとして、訪問介護が12.4ポイント、予防訪問サービスが11.7ポイント、前回に比べ増加している。（P175　図2-12）

・人生会議（ＡＣＰ:アドバンスケアプランイング）について、「人生会議（ＡＣＰ）の意味も含めて知っていた」が16.9ポイント、前回に比べ増加している（P206　図8-1）

・業務遂行上の問題として「文書の作成等事務処理に追われる」が前回同様、最も高くなっている。また、「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」が前回に比べ、14ポイント増加している。（P211　図10-1）